

## 尾張南支部

# 知多県民センターと合同で名鉄知多半田駅前ロータリーで、不法投棄防止の啓発活動を展開

尾張南支部(金田英和支部長)の不法投棄防止キャンペーンは、5月31日(火)午後5時30分から、名鉄知多半田駅前ロータリーで、愛知県尾張県民事務所知多県民センターと合同で啓発活動を実施しました。

当日は名鉄知多半田駅前に支部長、役員、会員14名と知多県民センターから環境保全課長 小野木一夫氏、同課主幹 岡田英幸氏ら職員4名、当協会からは環境アドバイザーの相宮良一氏が参加しました。

はじめに知多県民センター 岡田主幹、金田支部長の挨拶がありました。支部会員は全員背中に「STOP!!不法投棄」とスローガンの入った赤いベストを着用し、啓発活動に臨みました。名鉄を利用する通勤・通学客や地域バス、送迎バスから降りて駅に向かう人や、駅前ロータリーを往来する多くの市民の一人ひとりにごみの不法投棄防止のお願いやごみの分別の大切さを呼びかけ、大判ウェットティッシュを手渡しました。県民センターではポケットティッシュ、ボールペンを用意し、県職員も市民の方へ呼びかけながら配りました。

最初は駅の乗降客を中心の啓発活動でしたが、時間が経つにつれてバスを降りて駅に向かう人や、通

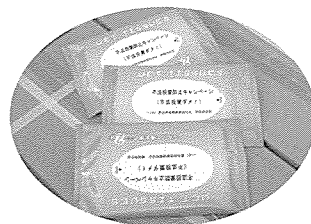


知多県民センターの方々と参加者の皆さん

勤客、ショッピング施設を出入りする買い物客で駅前ロータリーは賑やかになり、配布する範囲を広げていきました。

今年もノベルティの大判ウェットティッシュは人気でした。通勤・通学の女性や中高年の主婦の方には特に好評で、2、3個受取る方も多数いました。また手渡しする際、ごみの不法投棄防止や分別の協力をひと声かけると、笑顔でご苦勞様という声で応えていただき、地域での不法投棄の意識が高まっていることを実感できました。毎年行ってきた啓発活動が実を結びつつあり大変良かったです。

用意したノベルティ(大判ウェットティッシュ700個、ポケットティッシュ400個、ボールペン200本)は30分ほどで配布を終え、最後に岡田主幹、金田支部長より参加者にお礼の言葉があり解散しました。



駅前ロータリーを行き交う方々にノベルティを渡し不法投棄防止をアピール